授業科目名・形態	小児看護方法論Ⅱ　　演習 （系統別看護）	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	坂東　利枝　工藤優子　日沼ゆかり	実務経験の有無	有	開講期	２年後期
科目ナンバリング	N5-2003npm				

【授業の主題】

健康障害を持つ小児と家族の問題を統合的に捉え、生活・療養するための基本的知識について学ぶ。小児におこりやすい疾患や健康問題について理解を深めその看護について学習する。

【到達目標】

1. 疾患や健康レベルの経過に応じた看護の実践方法について理解し、説明できる。
2. 小児におこりやすい疾患や健康問題のレベルに応じた看護の実践方法について理解し、説明できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　小児看護における看護過程展開①、小児の主な疾患と看護－呼吸器疾患
第 2 回　小児の主な疾患と看護－循環器疾患
第 3 回　小児の主な疾患と看護－消化器疾患
第 4 回　小児の主な疾患と看護－免疫疾患、アレルギー疾患、感染症
第 5 回　小児の主な疾患と看護－代謝性疾患、内分泌疾患
第 6 回　小児の主な疾患と看護－血液・造血器疾患、悪性新生物
第 7 回　小児の主な疾患と看護－腎・泌尿器および生殖器疾患、運動器疾患
第 8 回　小児の主な疾患と看護－皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患
第 9 回　新生児の看護・ハイリスク新生児
第 10 回　新生児の看護・先天性異常
第 11 回　小児の主な疾患と看護－不慮の事故および外傷
第 12 回　小児の主な疾患と看護－神経疾患、発達・行動の問題
第 13 回　小児看護における看護過程展開②
第 14 回　施設見学
第 15 回　施設見学

【授業実施方法】

講義・演習
施設見学は秋田赤十字病院・秋田県医療療育センターのフィールドワークとなります。

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回 30 時間以上行うこと。
講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

「小児看護学概論」「小児看護方法論Ⅰ（健康課題をもつ子どもの看護）」「病態治療学Ⅲ（小児科）」

【教科書等】

系統看護学講座　専門Ⅱ　小児看護学〔1〕小児看護学概論・小児臨床看護学総論、医学書院
系統看護学講座　専門Ⅱ　小児看護学〔2〕小児臨床看護学各論、医学書院

【参考文献】

必要に応じ、授業で紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験 90%、提出課題 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

実務経験にて小児患児・家族と関わった経験を活かし、小児看護の基盤となる知識や考え方を伝えていきたい。

【学生へのメッセージ】

子どもは一人の尊厳ある存在として生きる権利があります。子どもが自分を大切にし、自分に自信を持って、自分の未来に希望を抱いて幸せな日々を送れるよう、小児看護の立場から一緒に考えていきましょう。